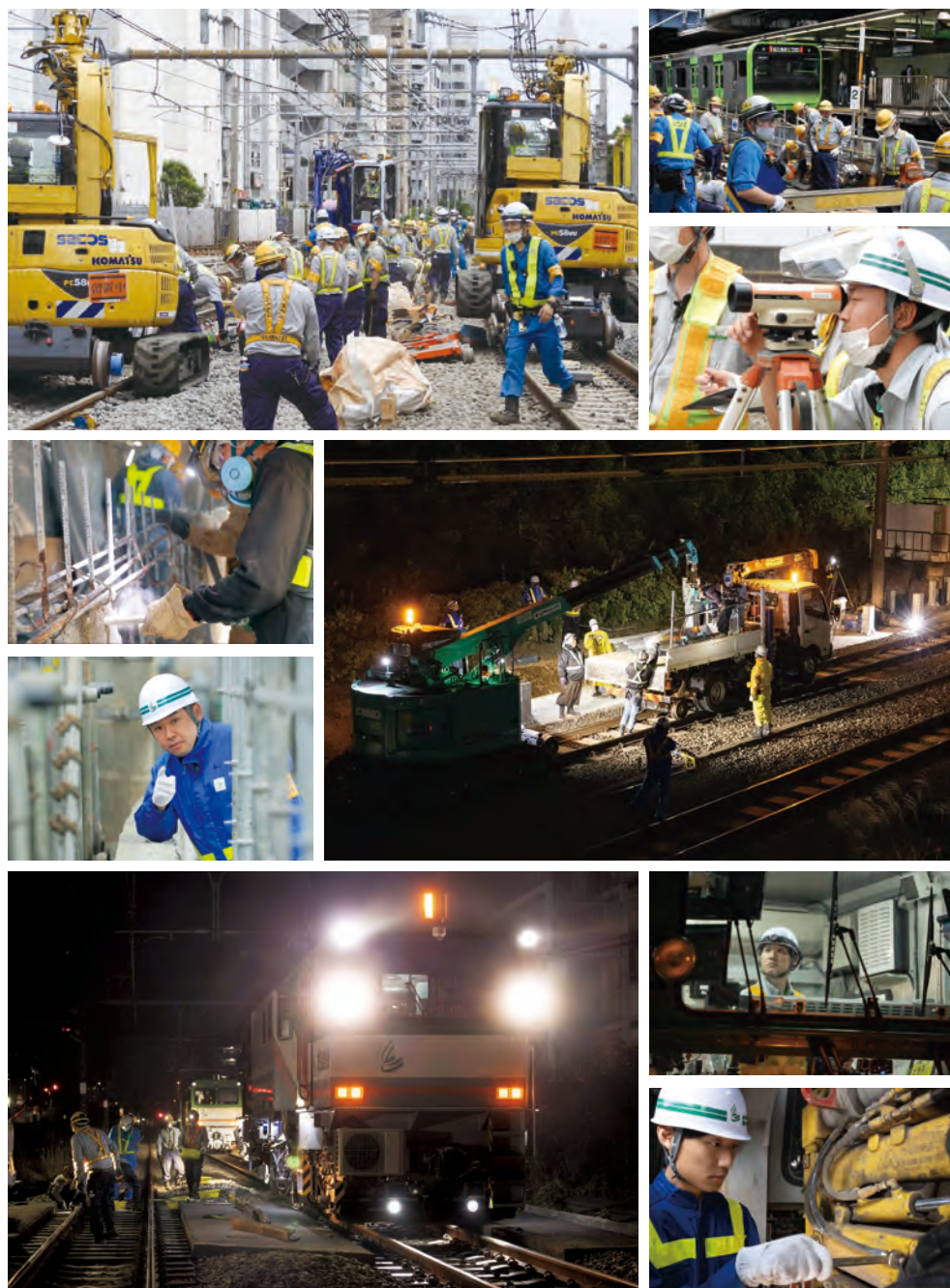




株式会社 交通建設

<https://www.kotsukensetsu.jp>



レールとともに



株式会社 交通建設

会社案内

鉄道のさらなる安全、技術、
快適性を追求してー。
守り、支え、進化を続ける。

代表取締役社長 菊地 正

日本初の鉄道開通から約150年。鉄道は大きく発展し、交通・輸送の手段として我が国に無くてはならないものになりました。また、過密ダイヤでありながらいつ何時も安全で正確である日本の鉄道輸送は、「世界一」と讃えられています。

当社は創立以来、首都圏における線路や構造物の建設・保守に対する施工管理を通じて日本の鉄道輸送を縁の下から支えてきました。国鉄・JRの繁栄とともに培ってきた軌道工事、土木工事の経験や専門知識を礎に、安全対策、技術開発を強化して鉄道保守のスペシャリスト集団として躍進し続けています。

現代社会は目まぐるしく変化し、日々進歩しています。鉄道においてもさらなる正確さやスピード、快適性が求められ安全面、技術面でのレベルアップが進んでいます。時代のニーズに応えるため、当社もさらなる高みを目指して参ります。

私たちの仕事は、鉄道の安全・安定輸送を支え、人々の夢や希望を明日へと運ぶことを担っています。

社員一人ひとりが人と社会、未来に繋がる仕事に責任を持ち、これからも常に安全を最優先しながら快適な社会づくりに貢献して参ります。



平穩無事を今日も明日も、その先も。

当社は昭和25年の創立から70年以上にわたって、日本の鉄道輸送の発展に寄与してきました。東日本旅客鉄道株式会社のパートナー会社として、首都圏に特化した地域密着の鉄道工事・保守を通して実績と信頼を積み上げてきました。

私たちは、鉄道工事の施工管理をする監督として、日々変わらぬ“当たり前”である、「安全」「正確」「安定」を支え、利用する全ての人の暮らしの平穩を守り続けます。社会と日本の大動脈を支える使命を、この胸に一。

[業務紹介]

01

軌道

大動脈“鉄の道”を守り続ける

どこまでも続く2本の鉄のレールは街と街を繋ぎ、大切な命や夢、希望を運んでいます。軌道部門は、鉄道が「最も安全で快適な道」としてたくさんの人に選ばれるよう、線路の保守・改良、新線の建設などに関するさまざまな工事を担っています。それはまさに、日本の大動脈を守り続ける仕事です。

軌道部門では、列車の通過に伴い劣化するレールやマクラギを交換します。現場責任者の指示により、複数の作業員が力を合わせて作業を行い、作業終了時にはわずかなズレも見逃さないよう全神経を集中させて「線路の仕上がり状態」を確認しています。



プロジェクト工事

作業計画は、現場の条件・状況にあわせて事前に緻密に練り上げられます。
計画をもとに、安全・確実に保守・改良作業を完了させます。

保守工事



工事前の点呼では施工管理者として協力会社に対し工事説明や注意事項を指示します。
作業時間の説明、作業員へ役割の指示を行うほか、作業員から危険のポイントを発言させること
で全員の危機管理意識を高めます。



お客様がより早く、より快適に目的地へ到着する
ために、数ミリのズレも許されない精度で作
られた新たな軌道が安全輸送を実現させます。



業務紹介

02

土木

誰もが快適に利用できる「鉄道環境」を整える

駅や鉄道を利用する全てのお客様のために、安全で快適な「鉄道環境」を整えるのが土木部門の役割です。

駅のバリアフリー化やホームドアの設置、ホームの改良、沿線の基盤整備、高架橋など構造物の防災・耐震補強、線路の下にケーブルを埋設するハンドホールなど、駅や沿線の鉄道環境に合わせたさまざまな土木工事を手掛けています。

中でも重要な工事の1つ「のり面保護工」はのり面の風化や降雨による浸食などを防止することを目的に行われる工事です。鉄道沿線におけるのり面を強化することで集中豪雨等による土砂の流出を防ぎ鉄道の安全・安定輸送を支えています。



ホーム延伸

乗降場改良工事

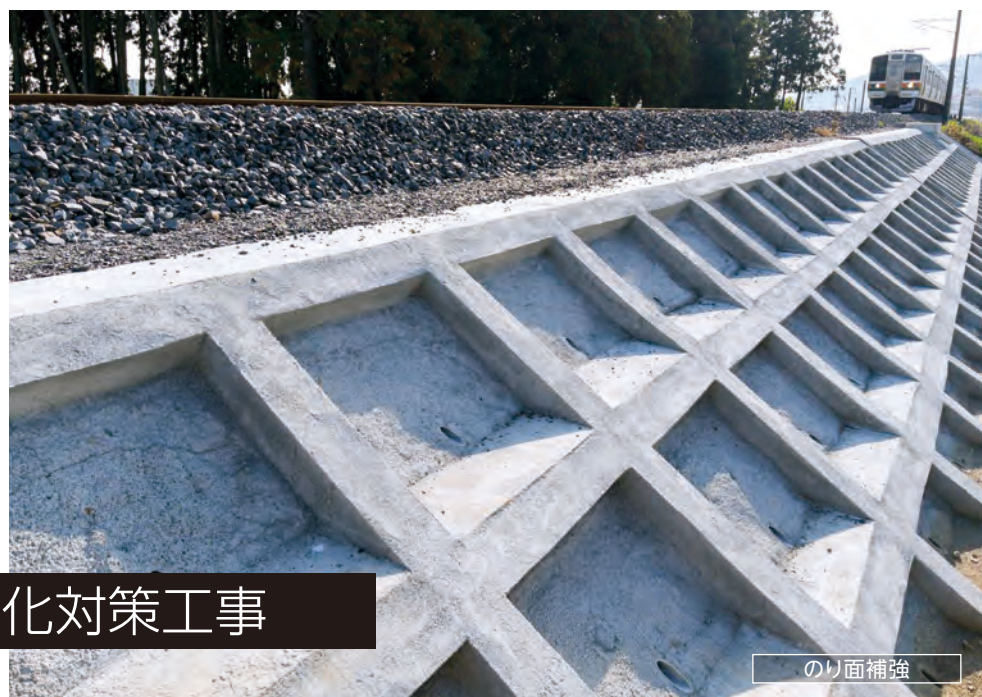
お客様により快適に駅や列車をご利用いただくために、旧式ホームの擁壁の改良、ホーム面の段差・傾斜の解消、排水などの交換などに取り組んでいます。



現場点呼



災害の発生を未然に防止するために、過去の降雨履歴や災害事例を基にして、のり面工（吹き付け工）、土砂止め覆い工、土砂止柵などの土木工事を行っています。



のり面補強

降雨防災強化対策工事

橋梁工事



橋桁新設

跨線橋通路設置の際に線路上に掛かる橋桁部分の新設工事を行っています。

耐震工事



橋脚耐震補強

大規模な地震に備え、橋脚をはじめ駅建物等の内部に至るまで、強靱な「鋼板巻き工法」や「リブバー補強工法」を施して鉄道橋の耐震性能向上を図っています。



〔業務紹介〕

03 機械

大型機械が線路の保守作業に新たな時代を切り拓く

列車が通過するたびに線路は沈下していきます。列車の走行中の振動を最小限に抑えて快適な乗り心地を実現するため、大型機械による線路のゆがみを直す工事（軌道整備）を行っているのが機械部門です。

特殊な大型機械を操るのは、訓練を重ねて腕を磨いたオペレーターです。その卓越した操作技術と機械に搭載された最新のコンピューターで日々の列車運行を支えています。

大型機械の導入は、作業効率の飛躍的な向上をもたらすとともに、作業従事者の安全性を高める面でも効果を上げています。万全な安全管理体制を確保しながら、線路の新設・保守作業を遅延なくミスなく完遂する。このごく「当たり前のこと」に、社員一人ひとりが真摯に取り組むことが、一番の目標です。



大型機械による軌道整備

マルチプルタイタンバ(MTT)やバラストレギュレータ(BR)などを駆使して、慎重に作業を進めています。



大型機械の点検整備

機械の動作確認は複数人が目視で行います。



日中点検整備で機械の安全性を確認します。





[業務紹介]

04

総務・企画

現場作業を円滑に、社員の働きやすい環境を支える。

鉄道工事の施工管理者として働く社員たちを、様々な角度からサポートする総務・企画部門。その業務範囲は広く、総務・経理では全社員のあらゆる面にオールラウンドな気配りが必要とされ、企画・人事では取引先または学校関係者とのやり取りなど、対外的な会社の顔ともいえる役割を果たしています。



研修センター

鉄道特有の知識、技術を磨くことが、安全への出発点。

人々の暮らしを支え、365日休むことなく稼働し続ける鉄道網。その安全で正確な運行を支えるためには、日々の実作業以外にも知識や技術を向上させる研修が必要です。千葉県佐倉市にある「研修センター」は、意見・情報の交換や勉強会などを行うための教室、技術を実戦から学べる実技訓練施設、集中研修が可能な宿泊施設など、学びのために万全の体制が整っています。



授業風景



軌道整備実習



測量実習



軌道検測実習

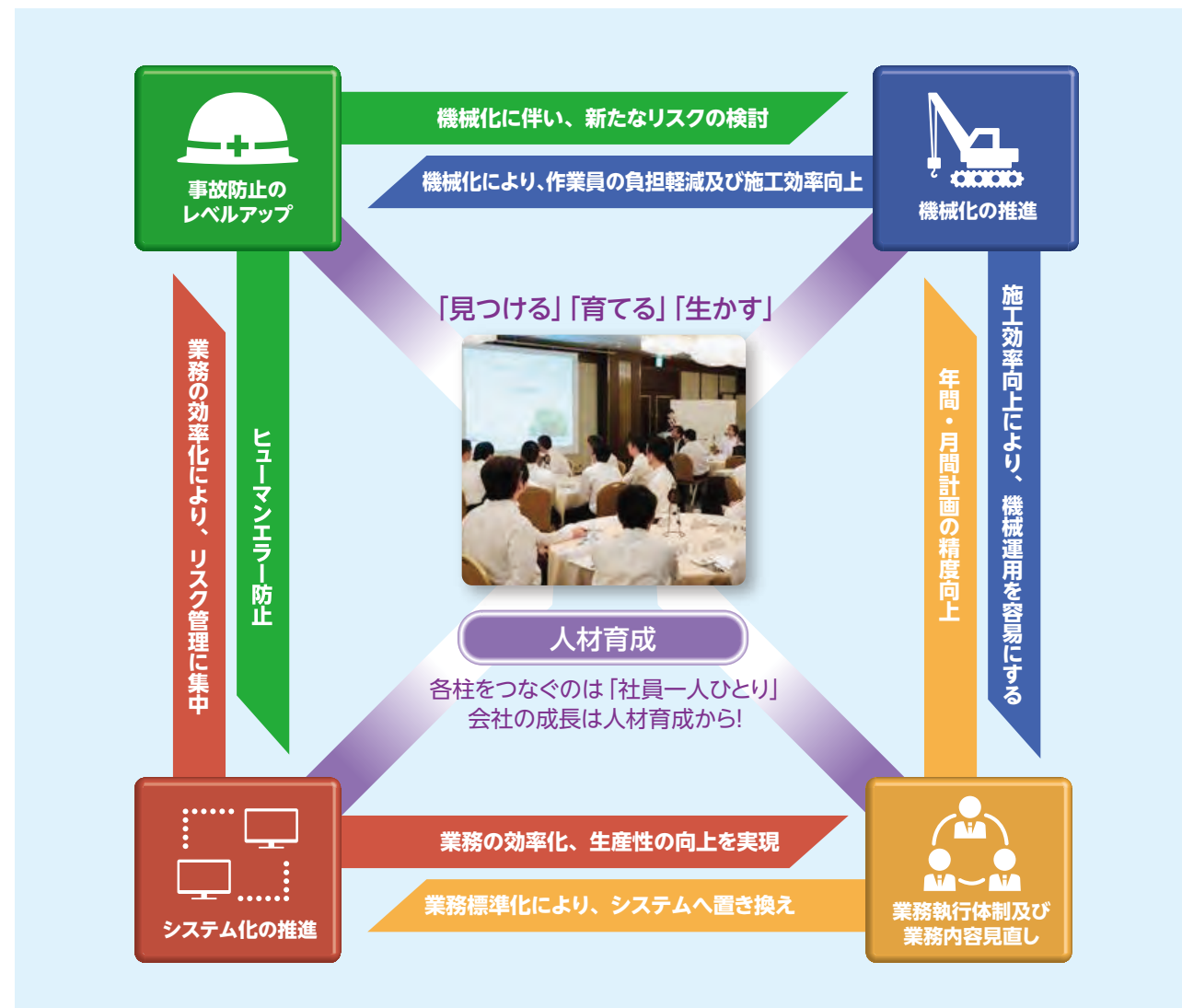
現場さながらの環境で実践的な学びが得られる訓練施設のほか、充実した教育環境とカリキュラムが整えられています。

経営方針

これまでの10年間の取組みとして「事故防止」「技術力の向上」「人材育成」など着実に成果をあげ、大きな事故・事象も減少している今こそが「交通建設の未来に向けて足元を固める」タイミングである。

この先の環境変化に対応するとともに、プロパー社員が中心となり業務を運営し、当社のブランドを磨くためにも、以下の取組みに着手する。

具体的な取組み課題は「事故防止のレベルアップ」「機械化の推進」「システム化の推進」「人材育成」「業務執行体制及び業務内容の見直し」の5本柱であり、下図のようなイメージとなる。



人材育成の考え方

社員とは会社にとって大切な財産であり、当社の経営方針(5本柱)でも掲げているように人材育成は会社の発展に欠かせない重要な要素である。

これまでの10年で積み重ねてきた成果と反省を踏まえて、今後の考え方を以下のとおりとする。

会社の未来のために社員を研修等で教育するほか、「見つける」「育てる」「生かす」の3つの視点から人材育成に取り組む。

- ① **見つける**：採用活動を活性化させることで、当社の企業理念に合致した社員を採用する。
そのためのツールを整備する。
- ② **育てる**：気づきの中から課題を設定し、解決できる人材の育成や社会人として恥ずかしくない人物に育てる。
- ③ **生かす**：個人の能力や得意分野を見極め、適正な業務に従事させることで社員を生かす。

また、マネジメント力、社会人基礎力及び社会人としてのマナーを含めた人間力を基礎として、鉄道工事に必要な資格取得や技術・技能のレベルアップにより、社員一人ひとりの成長を促していく。

※社会人基礎力とは:「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力で構成される「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」のこと。



会社概要

社名	株式会社 交通建設		
設立	昭和25年2月		
所在地	〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-4-1		
代表者	代表取締役社長 菊地 正		
沿革	昭和19年 7月 株式会社旭工業社を創立		
	昭和25年 2月 株式会社東鉄退職者潤生会が設立		
	昭和30年 5月 潤生興業株式会社に商号変更		
	昭和35年11月 東京都新宿区百人町2-4-1に会社移転		
	平成4年 4月 株式会社旭工業社と潤生興業株式会社が合併し 旭潤生工業株式会社と商号変更		
資本金	平成7年 10月 株式会社交通建設と商号変更		
	1億1,450万円		
	229億円(2022年度)		
売上高	537名(2023年 4月現在)		
従業員数	鉄道軌道工事、一般土木工事 等		
事業内容	東日本旅客鉄道株式会社 日本貨物鉄道株式会社 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構		
主要受注先	東日本旅客鉄道株式会社		
	日本貨物鉄道株式会社		
	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構		
主な株主	東日本旅客鉄道株式会社	第一建設工業株式会社	
	東鉄工業株式会社	株式会社三菱UFJ銀行	
	交通建設社員持株会	株式会社みずほ銀行 ほか	
取引銀行	三菱UFJ銀行	大久保支店	
		高田馬場支店	
	みずほ銀行	新宿西口支店	
		高田馬場支店	
	三井住友銀行	新宿西口支店	
	りそな銀行	新都心営業部	

組織図





私たちが取り組む計画・作業は、協力会社との協働無しには成し遂げることができません。
共に前を見つめ、汗を流す仲間とともに、鉄道の安全・発展を目指し続けます。

軌道関係協力会社

東京支店	株式会社 熊谷軌道	〒120-0034 東京都足立区千住5-28-1 TEL.03-3882-4753 FAX.03-3882-4797	https://www.kumagayakidou.com/
	常総工業 株式会社	〒121-0062 東京都足立区南花畑3-4-13 TEL.03-3885-8927 FAX.03-3885-8928	
	南工業 有限会社	〒140-0003 東京都品川区八潮3-2-9 TEL.03-3799-4335 FAX.03-3799-4350	https://www.minami-kougyou.com/
神奈川支店	株式会社 日本建設	〒230-0046 神奈川県横浜市鶴見区小野町64-2 TEL.045-504-1803 FAX.045-504-2252	http://www.nippon-kensetsu.co.jp/
	株式会社 トーヨ工業	〒230-0004 神奈川県横浜市鶴見区元宮2-9-1 TEL.045-573-6965 FAX.045-573-4167	http://www.to-yokogyo.co.jp/
府中支店	木村興業 株式会社	〒180-0022 東京都武蔵野市境1-23-24 TEL.0422-51-6679 FAX.0422-51-6763	
	株式会社 鋼和企業	〒193-0944 東京都八王子市館町468-2 TEL.0426-61-8587 FAX.0426-65-8121	http://kowa-kigyo.com/
栃木支店	永岡建設 株式会社	〒321-2332 栃木県日光市大室2054-3 TEL.0288-26-3321 FAX.0288-26-3320	
	有限会社 沓掛	〒329-3133 栃木県那須塩原市沓掛683-2 TEL.0287-74-3878 FAX.0287-74-3879	
高崎支店	関東工業 株式会社	〒360-0023 埼玉県熊谷市大字佐谷田33-22 TEL.048-524-6351 FAX.048-527-0106	http://www.kanto-k.jp/
	高崎建設 株式会社	〒363-0023 埼玉県桶川市朝日2-15-8 TEL.048-774-0641 FAX.048-775-4299	https://takasaki-kensetsu.co.jp/
	株式会社 大恵	〒379-0104 群馬県安中市下秋間1145 TEL.027-381-1531 FAX.027-382-1597	http://www.daikei1145.co.jp/
	株式会社 本郷組	〒369-0307 埼玉県児玉郡上里町嘉美1337 TEL.0495-35-3581 FAX.0495-35-3582	https://www.hongougumi.co.jp/
	山形軌道 有限会社	〒323-0022 栃木県小山市駅東通り3-7-1 TEL.0285-25-4448 FAX.0285-25-8601	http://yamagata-kidou.co.jp/
	高橋軌道 有限会社	〒367-0211 埼玉県本庄市児玉町吉田林396-5 TEL.0495-72-3806 FAX.0495-72-7039	https://www.takahashikidou.net
千葉支店	株式会社 東峰建設	〒367-0213 埼玉県本庄市児玉町秋山1592 TEL.0495-72-7640 FAX.0495-72-7538	http://toho-kensetsu.co.jp/
	株式会社 関建設工業	〒177-0042 東京都練馬区下石神井2-33-35 TEL.03-3904-2528 FAX.03-3904-2694	
	北総軌道工業 株式会社	〒289-1107 千葉県八街市八街は46-62 TEL.043-308-5077 FAX.043-443-5557	https://www.hs-kido.co.jp/
	株式会社 海老澤工業	〒267-0066 千葉県千葉市緑区あすみが丘1-8-3 TEL.043-294-3838 FAX.043-295-5020	
	株式会社 行川組	〒299-3251 千葉県大網白里市大網306 TEL.0475-72-0240 FAX.0475-72-0233	
	株式会社 宇井軌道工業	〒289-3182 千葉県匝瑳市今泉7746-2 TEL.0479-67-2128 FAX.0479-67-4928	https://ui-kidou.com/
	株式会社 藤工務所	〒288-0873 千葉県銚子市笹本町79 TEL.0479-33-1030 FAX.0479-33-1681	http://www.fujikou.jp/

土木関係協力会社

神奈川支店	株式会社 小滝建設工業	〒212-0024 神奈川県川崎市幸区塚越3-430 TEL.044-511-5960 FAX.044-544-4432	http://www.k-kotaki.co.jp/
府中支店	ヘイセイ工業 株式会社	〒206-0802 東京都稲城市東長沼190 TEL.042-379-9851 FAX.042-379-9852	http://www.heisei-kk.jp/
	株式会社 ホクエイ	〒135-0042 東京都江東区木場5-6-33 TEL.03-3630-5211 FAX.03-3630-2667	http://www.hokuei.info/
高崎支店	内藤塗装工業 株式会社	〒367-0026 埼玉県本庄市朝日町2-3-11 TEL.0495-24-0333 FAX.0495-24-2326	http://www.naitoh-tosoh.co.jp/
	須田建設 株式会社	〒379-1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原45 TEL.0278-72-2332 FAX.0278-72-2336	
	モロオ力建設 株式会社	〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1333-2 TEL.0277-73-7181 FAX.0277-73-7182	https://www.morooka-const.co.jp/
千葉支店	株式会社 関建設工業	〒177-0042 東京都練馬区下石神井2-33-35 TEL.03-3904-2528 FAX.03-3904-2694	
	山武造船 株式会社	〒283-0104 千葉県山武郡九十九里町片貝6928 TEL.0475-76-2171 FAX.0475-76-2227	
	株式会社 須藤工務店	〒284-0005 千葉県四街道市四街道2-1-13 TEL.043-432-2303 FAX.043-432-3506	
	株式会社 三枝組	〒297-0026 千葉県茂原市茂原1310 TEL.0475-23-5225 FAX.0475-25-0285	http://www.saegusagumi.co.jp/
	株式会社 市川組	〒286-0015 千葉県成田市中台6-27-12 TEL.0476-29-1061 FAX.0476-29-1062	
	有限会社 三枝組	〒299-4615 千葉県いすみ市岬町井沢509-6 TEL.0470-87-4449 FAX.0470-87-6641	http://www.isuminavi.jp/saegusagumi/
土木支店	ランバー 株式会社	〒285-0004 千葉県佐倉市岩名1042-1 TEL.043-484-4272 FAX.043-484-4275	
	マム建設興業 株式会社	〒294-0033 千葉県館山市宮城169-4 TEL.0470-24-2817 FAX.0470-24-2817	
	株式会社 猪股建設	〒324-0206 栃木県大田原市中野内2126 TEL.0287-59-0114 FAX.0287-37-5515	http://www.inomatakensetsu.co.jp/
	桜岡建設 株式会社	栃木県大田原市新富町2-3-16 TEL.0287-23-3456 FAX.0287-23-7646	http://www.sakuraoka.jp/
	株式会社 高希建設	〒249-0005 神奈川県逗子市桜山4-7-5 TEL.046-870-1800 FAX.046-870-0550	
	NTF 有限会社	〒115-0056 東京都北区西が丘2-17-17 TEL.03-3907-2026 FAX.03-3907-2028	http://ntf-tokyo.net/